

特発性側弯症
脊椎後方固定術を受けられる患者さんへ(小児)

患者氏名:

さん

主治医署名:

担当医署名:

受け持ち看護師署名:

1/2ページ

月日(日時)	/		/		/		/	
経過(病日等)	手術前日まで	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	
達成目標	・発症に応じた納得が得られる ・家族が手術の必要性を理解することができる ・身体的準備と心理的準備が整っている 手術は(:)からです。		・バイタルサインが安定する(手術後当日～3日目) ・鎮痛剤を使用し痛みをコントロールできる(手術当日～退院まで) ・歩行器を使用し安全に歩行できる(手術後2日目～) ・転倒転落を予防する ・皮膚トラブルがない					
治療・薬剤 (点滴・内服)・リハビリ	午前中からの手術の場合は昼までに下剤を内服します。 必要時、術前リハビリがあります 	手に点滴時の痛み止めのテープを貼ります。(:) 指示されたお薬のみ内服します。 保護膜形成剤を使用して皮膚トラブルを防ぎます。	抗生剤の点滴が数日間あります。 硬膜外麻酔チューブが背中に留置されます。(最長で5日間) ・血栓予防のため足に弾性ストッキングやマッサージの器械をつけます。歩行の機会が増えれば医師の指示にて除去できます。 ・医師指示のもと必要に応じてリハビリが開始になります。 点滴があります。(食事を半分以上食べることができれば終了です)痛み止めの注射が数日間あります。 食事が食べられるようになれば痛み止めの内服が始まります。痛みが強い場合は坐薬も使用することが出来ます。  					
処置			傷の状態を確認します。 		出血がなければ毎日傷の確認のみ実施します。 			
検査	必要時、採血・レントゲン・呼吸機能検査・心電図検査があります。		採血があります。		必要に応じて医師の指示により採血・レントゲン・CT検査があります			
活動・安静度	特に制限はありません。		体位変換をお手伝いします。 ※痛みに応じて少しずつ背もたれを上げていきます。 毎日動ける量を増やして座れるよう準備していきます。		痛みに合わせて起き上がっていきます。 歩行器を使用しての歩行練習を開始していきます。 痛みが強くなければ自力で歩行できます。 (術後3-4日で歩行できています) 			
食事	特に制限はありません。(朝食は食べてください。夕食まで通常通り摂取します。)	絶水・絶食指示があります。 絶食 前日(:) 絶水 当日(:)	腸の音が確認できたら水を飲むことが出来ます。 腸の音が確認できたら食事が開始となります。おかゆへの変更もできますので遠慮なくおっしゃってください。 					
清潔	シャワー浴ができます。		お体拭きをします					
排泄	排便状況を確認します。		ベッド上で排泄します。尿は管が入っていますので自然に流出します。		歩行状態に合わせて尿道の管を抜きます。			
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ	・主治医からの手術説明があります。 ・麻酔科医からの説明があります。 ・血栓予防のための靴下のサイズを測ります。 ・手術室、集中治療室の看護師より説明があります。 ・看護師が術前術後の経過について説明しチェックリストで必要物品を確認します。 ・各種同意書をお預かりします。		・ご家族の手術中の待機場所を確認します。(自宅または院内) 必要物品は別紙参照ください。(テープ式おむつが必要です。)		・手術後、主治医からご家族に手術の結果の説明があります。 ・麻酔から覚めたら深呼吸をしましょう。手術後24時間以内は状態が変化しやすいため1-2時間毎に状態を観察します。 ・痛みがある場合は遠慮せずにお知らせください。状態に合わせて看護師が鎮痛剤の使用や体位変換などを行います。		【自宅環境】 戸建てかマンションか、自室の位置の確認 寝具(布団かベッドか) 食事(テーブルか床に座るか) 階段 お風呂(椅子の高さ) などの確認をさせていただきます。 	

月日(日時)	/	/	/	/	/ ~
経過(病日等)	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	退院まで
達成目標	・バイタルサインが安定する ・痛みの調整ができる ・傷の腫れ、発赤、熱感、出血がみられない ・転倒転落を予防する ・皮膚トラブルがない				・38度以上の熱や創部の赤み・腫れがない ・歩いて退院することができる
治療・薬剤 (点滴・内服)・リハビリ	リハビリがあります 自宅退院の場合は他院指導書の発行				
処置	出血がなければ毎日傷の確認のみ実施します。		抜糸します。	傷の確認をします。	
検査	必要に応じて医師の指示により採血・レントゲン・CT検査があります。				
活動・安静度					
食事	特に制限はありません。				
清潔	術後5日目以降、発熱や傷の状態が問題なく医師の許可があればシャワー浴が開始となります。最初は看護師が介助します。自立できるよう入浴時の注意点を説明します。				
排泄					
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ	【社会環境】 通学方法と通学時間 術後必要なら家族の送迎は可能かどうか 通学時かばんの重さ(置き勉はできるのか) 教室は何階か 部活動について 大学生の場合(一人暮らしか術後は実家か) などを確認させていただきます。	医師からの説明で 術後の生活制限についてどのように聞いているか	看護師から退院後の生活について指導があります。学校生活や復学に向けた指導 ・運動制限、成長予測について方針を確認します		

※病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

※入院期間については現時点で予想される期間です